

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーを識り、
奉仕を实践し友情を深めよう」



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム
2560地区ガバナー 田中 政春
高田ロータリー会長 本山 秀樹
幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 卓也 伴 長門 斉藤 光雄 佐藤 芳徳

第5回例会 ■ 7月29日(金)

No.5

会長挨拶 ● 本山 秀樹



皆さんこんにちはー

今日は、国際ロータリー第2560地区田中政春ガバナーをお迎えしての例会です。田中ガバナーにおかれましては、7月からの新年度に入って高田クラブが7カ所目の公式訪問先であるそうです。田中ガバナーから貴重なお話をいただきこれからのクラブの運営に活かしていきたいと思えます。

ゆっくり食事を召し上がっていただき、卓話をお聞きしたいと思います。宜しくお願いいたします。

出席報告

出席率 100%

ビジター

田中政春君 (RI 第2560地区ガバナー/長岡西 RC)
佐藤明臣君 (第7分区ガバナー補佐)
小林敏夫君 (地区幹事/長岡西 RC)
布施修治君 (高田 RAC 会長)
永井真伊君 (高田 RAC 幹事)

お客様スピーチ

高田 RAC 布施会長

7/24 フリーマーケット報告

11/12 創立45周年式典について

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

田中ガバナー・小林地区幹事

佐藤明臣ガバナー補佐——ガバナー公式訪問によせて

大島精次君——田中政春ガバナー公式訪問に際して

東山昕也君——田中政春ガバナーをお迎えして会長・幹事——田中ガバナー公式訪問に際して橋詰敏一君——田中ガバナーに公式訪問いただき誠に光栄です。

高坂光一君——24日のフリーマーケットで例年の4倍114,078円の売上げ、目標の10万円を達成できました。皆様の善意に感謝致します。※尚、収益金は熊本へ義捐金として寄付します。

大島 誠君——7/23～8/14 あすとぴあ高田5Fでアール・ブリュット展 in 上越2を開催しています。是非ご家族の皆さんと一緒に見ていただきたいと思えます。

親睦委員会

8/5 納涼会のご案内

幹事報告

配布物：週報No.4、ロータリーの友8月号

報告：8月ロータローレート102円/ドル

田中政春ガバナー 卓話



ポール・ハリスは78歳で亡くなりましたが、私は78歳でガバナーの任を受けました。本日は自分のこと、認知症への対応、ロータリーの理解と最後に会員の増強についてお話させていただきます。

私は北海道北見市の近くの小さな町の出身です。地元の友人5人と新潟大学を受験し、うち3人が合格しました。その後、東京でインターンのかたきにアルバイトで精神科に勤めたことがきっかけで、精神科の医師になりました。1972年に犀潟に日本で初めて認知症の病棟ができて、そこで認知症の診療を勉強しました。認知症を100%防ぐことはできませんが、BPSD = 行動・心理症状のコントロールに取り組んだ結果、さ = 蔑まない、し = 叱らない、す = 凄まない、せ = 急かさない、そ = そっけなくしないを介護の基本とすれば患者も落ち着いてくることわかりました。

ガバナーの役割について考えてみましたが、年度のRI会長のテーマを直接お話するのが公式訪問の役割だと思っています。

ロータリーの本質を理解するためには時代背景を知ることが大事です。1905年にポール・ハリスがロータリーを立ち上げた頃は、南北戦争が終わって社会が出来上がってきた頃で、自由かつ自己責任の社会でした。自由すぎるとかえって住みにくい面もあり、自由の反対は regulation ですが規制を求めるような一面も出てきております。

ジャーム会長は就任にあたり「ロータリーの初期から人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。～私たちが目指すのは、単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです。」とっております。今年度から、地区会員増強委員長を直前ガバナーの山本さんをお願いしました。皆さんが会員を勧誘する時に「ロータリーって何ですか」と問われると思いますが、私は「誰とでも仲良くし、約束を守り多様な考えを許容できるように努力している人がリーダーシップを発揮し、地域や国際的な問題の解決に取り組んでいる国際的連合体である」と思います。日本のロータリー会員も多いときは13万人近かったのが、今は9万人を割っています。多くの方が経済の萎縮を理由に挙げますが、2560地区を見ても三条北RCのように会員を増加させているクラブもあります。社会奉仕活動が活発で地元の人と一緒にいるからだと考えております。

また、会員個人の事業所のメリットを少しアピールしても良いのではないのでしょうか。今年は3%の会員増強が目標です。ロータリー財団が100周年を迎え、会長賞の中に貢献事業が含まれておりますのでクラブとして是非チャレンジしていただきたいと思っております。

クラブ協議会

田中政春ガバナー・佐藤明臣第7分区ガバナー補佐ご出席のもと、各委員会委員長より今年度の運営方針及び事業計画について報告するとともに、田中ガバナーよりそれぞれ講評とアドバイスをいただきました。

